



ふたりぼっちレズジャー訓練

DARK ELVEN FOREST RANGER

ADULT ONLY  
**R18**



むっ  
あれは！

おーい  
ダークエルブン！

ん？



彼女は  
ダークエルブン・  
フォレストレンジャー  
バイオロイドである

司令官

いやそんな  
大荷物で  
どこへ  
行くのかと  
思っ



ああ…  
司令官か

わたしに  
なんか用？

これは  
その…

レンジャー  
訓練に  
行くのよ



レンジャー訓練？

私レンジャー  
だから…

たまたまに  
自主的に訓練  
してるの



今から一人で  
いくのか？

…誘っても  
みんな  
嫌がるから…







いいじゃないですか!

司令官について行ってもらえば!

そういう事なら俺が着いて行こう

…よし

えっ!?

セレスティア!

むきゅっ



だっ!ダメよそんなの!危ないかもしれないし…!

あぶないならなおさら…

スッ

ダークエルブン一人で行かせるのは心配でしたけど

司令官が一緒なら安心ですね!

むぎゅ

ちよっと!

くつつきすぎ…!

この二人がそろると…すごいな



むきゅ

それほさておきセレスティアが着いて行ってはくれないのか?

え?

私は遠慮しておきます

今の間なに!?





ダークエルブン：  
せっかく司令官と  
二人きりで訓練できる  
チャンスなんですよ

その過程で  
組んずほぐれつ  
何やかや  
あってもそれは  
山のみぞ知る…

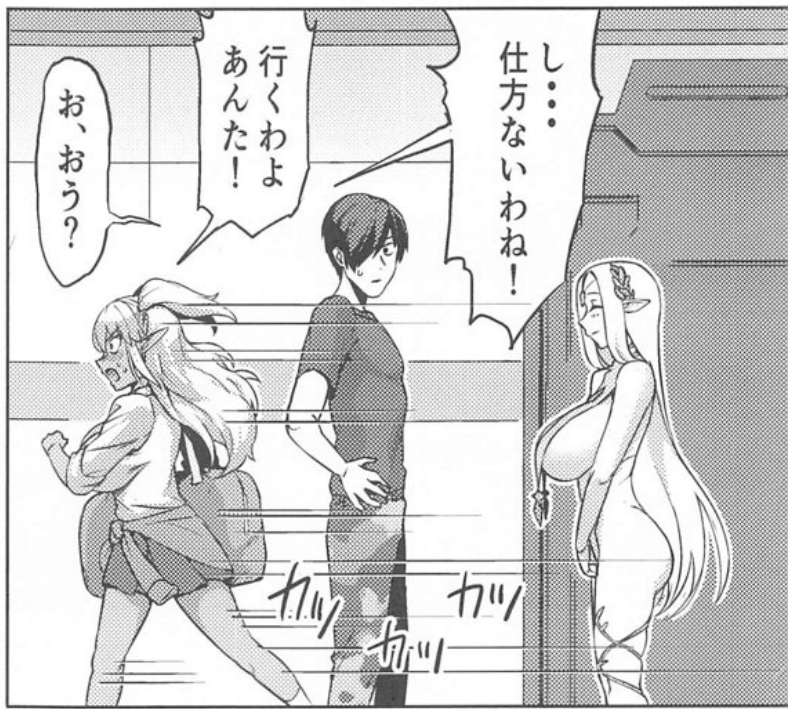
わかりますね？

……



返事は  
レンジャー!!

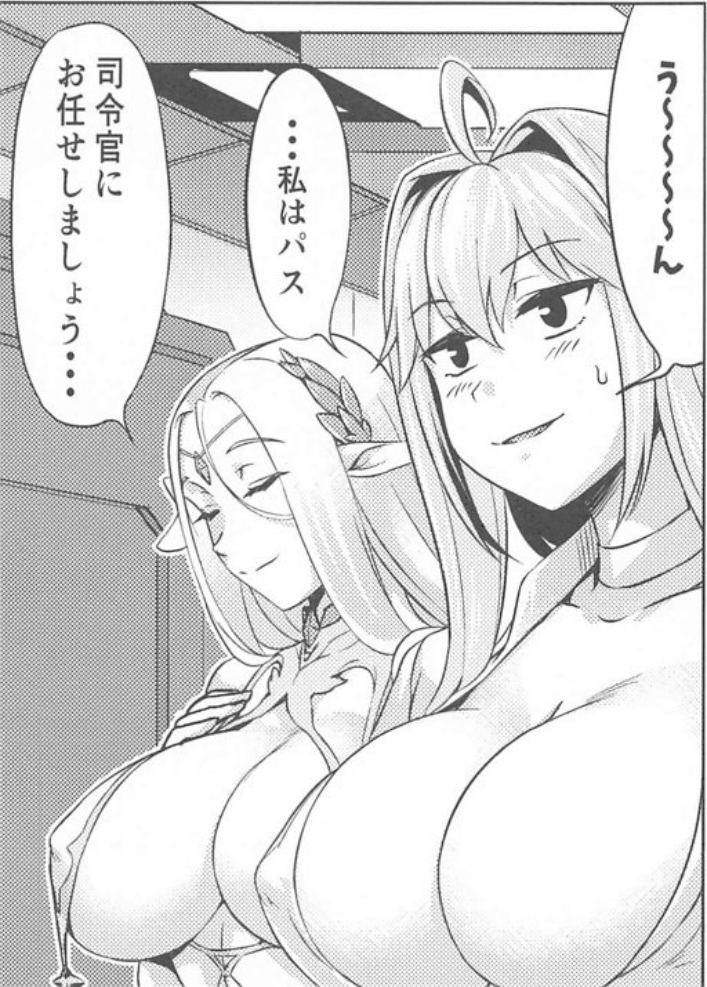
えっ!? れ…  
レンジャー!!



し…  
仕方ないわね!

行くわよ  
あんた!

お、おう?



ううううん

…私はパス

司令官に  
お任せしましょう…



いっせーらっしやーい

お?



もしかして  
レンジャー訓練?

エルブンも  
行きますか?

司令官も  
一緒ですよ

エルブン・  
フォレストメーカー





よし  
それじゃあ  
筋力訓練から  
始めるわよ!

レンジャー!



こういう筋トレは  
久しぶりだな...

ろくっ



いちっ

にっ

さんっ

しっ

ごっ



ななっ



ダークエルブンよ...  
それはもはや  
腕立て伏せではなく

はちっ...

なに見てんのよ

ちちた  
乳立て伏せだぞ



10km走

スクワット200回

腹筋100回

そんな煩惱とも戦いながら俺とダークエルブンはトレーニングを続けた



あんたも中々ついてくるじゃない

ふー

セレスティア達がやりたがらないのも分かる気がする



それにしても…結構ハードだな

はっ (はっ)

ハアッ

ハアッ



今日は…ここらへんで…

何言ってるの？これからののに

……………え？



山。

登るわよ

!?





ちよっと待って!!

五時間経過

ん?  
休憩する??



ちよっと...

三時間経過



一時間経過

ちよ...



コレさすがに  
キツ過ぎないか!?

当然よ...

レンジャー訓練  
なんだから...

どうして  
こんな訓練を...

そんなの  
決まってる  
でしょ



いざと  
なった時—

大切なものを  
護るためよ





下山してたまるか  
レンジャー!!



あとどのくらい  
登るのか  
教えてくれないか



ぜったい  
負けん!!



いつも使ってる  
山小屋まで...  
あと3、4時間  
くらい

4時間...

大丈夫?

あんたが  
限界なら  
旧登山道から  
下山するよ

そしたら  
ふもとまで  
1時間弱で  
着くから...

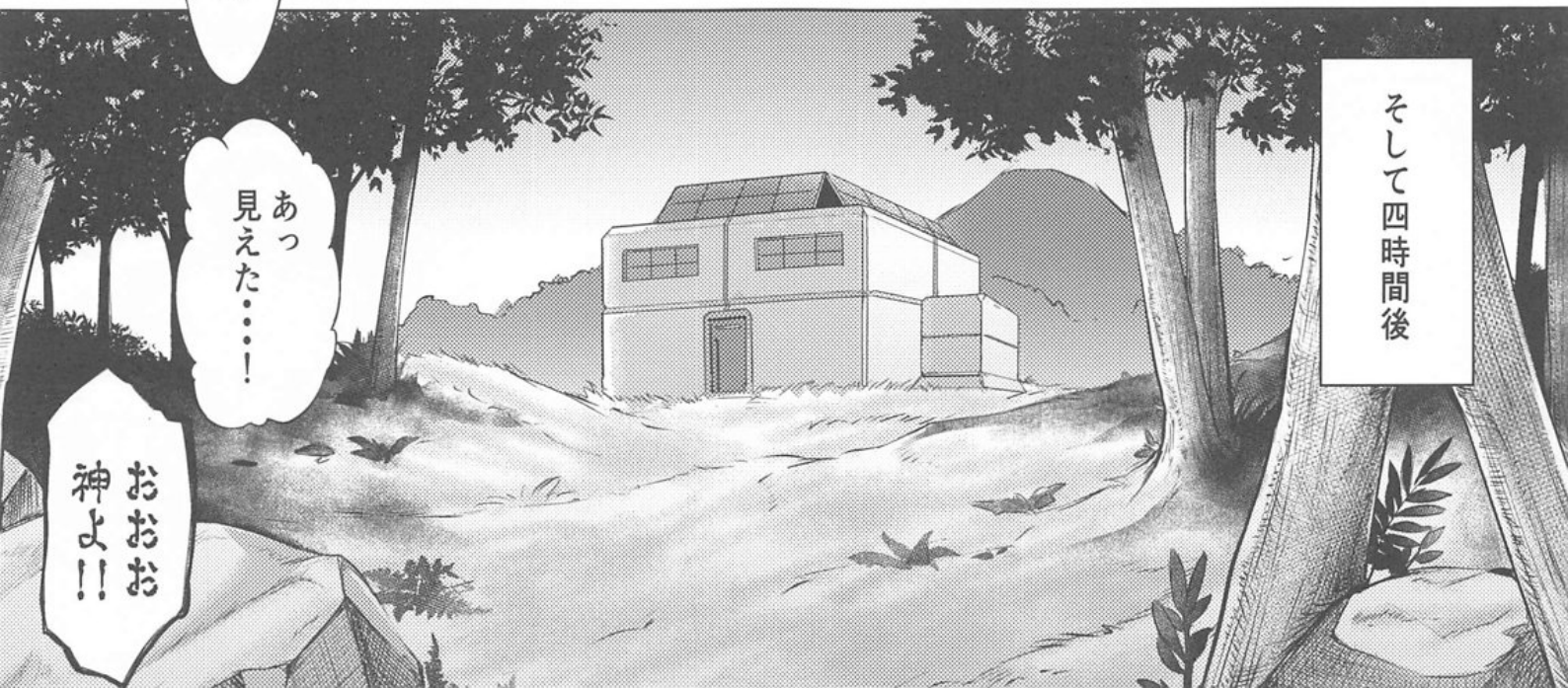


いや勝つ!!



なにそれ

おのれに勝つ!!  
そして鉄虫に  
勝あああつ!!



そして四時間後

あっ  
見えた...!!

おおお  
神よ!!





最後に来たのは  
2ヶ月くらい  
前だけど……

結構  
きれいだな

こないだ  
掃除したからね



シャワーが  
あるのか!?

今となっては  
使うのも私くらい  
だけだね……



これならシャワー  
浴びれるかも……

!?



雨水を貯めてる  
タンクも正常

自動濾過システムも  
故障なし……



あんと一緒に……

浴びてもいい……けど



タンクの水量的に……  
シャワー一回分くらい  
余裕があるわね

一回分かあ〜!!



わっ  
わたしは……ッ!

それなら  
ダークエルブンが  
入ればいい……





ちよ...  
ちよっと!

くつつかないでっ

すっすまん

あ、あと  
あんまりこつち  
見ないで...!

いや...  
この状況で  
見るとか見ないとか  
言われても...

うるさい!

深く考えるな!!

考えるなど  
言われると  
余計に...

クイッ

あー!!  
もういいから  
お湯出すよ!

.....

あ~~~~~





俺のすぐ後ろには  
一糸まとわぬ  
ダークエルブン…

やはり  
この状況は…



今までで一番  
気持ちいい  
水浴びだ…

大げさ過ぎ…  
でもわかる…



いや待て…



お…落ち着け  
人類最後の一本  
我が息子よ…!!

あつ…!!



もしこれを  
ダークエルブンに  
見られたら  
まずい事に…

わあ…

おっきい…

あああつ!!





おまえ……!  
自分で見るなって  
言ってたろ!?

だ……  
だ……  
だ……!

気になるん  
だもん……!

あ……

……

……は



はじめまして

礼儀正しい!!

ゴキ



ご……ごめん  
痛かった……!?

いきなり  
握るんじゃないよ!!

いや握手  
しないと……(?)



ニギッ

ひや……

……





あの…

これっておっきく  
なってるよね？

…そうだな

わたしの  
身体を見て  
コーフンしたの？

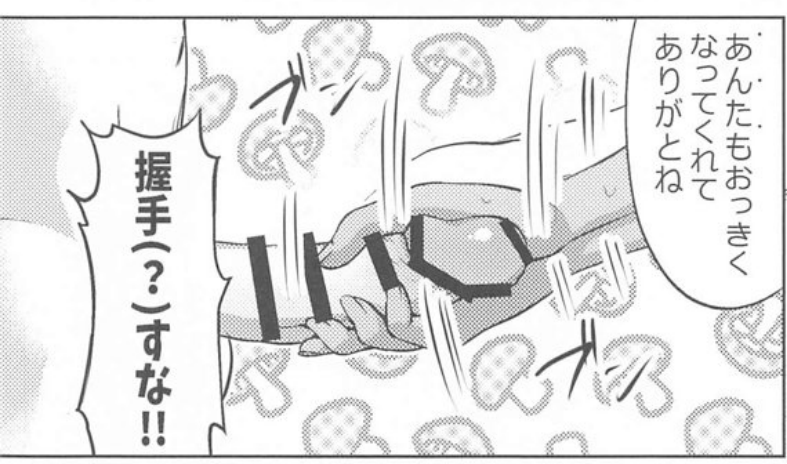
…そういう  
ことになるな

…おっぱい  
好きなの？

むちっ

大好きです

……そっか



あんたもおっきく  
なってくれて  
ありがとね

握手(?)すな!!



こんなの重くて  
邪魔なだけだと  
思ってたけど…

あんたが好きなら  
…いいか

たふっ



あ  
また硬くなった

~~~~~!!





ほんと硬い...

それにすごく熱い...

あとなんかぬるぬる...



今日はたくさん汗もかいたし洗ったげるよ

おおっ!!



これが... 入っちゃうんだ...



そういうことなら俺もしっかりと洗ってやろう

わたしはいいって...



びん!?

にゅ









出て……る

あ……

どうなるのかという  
ことを



そしてその状態で  
射精などしたら

ん……!!



ん?

ガッ



えっなに!?

どうしたの!?

ズズ……

ちょっと!

大丈夫!?  
ねえあんた!!

そのまま  
俺の意識は  
闇に吞まれた—





はっ！



ごめんね…  
あんた疲れて  
たのにあたし…

いや…

気にするな  
大した事はない



あつ

よかつたあ…  
気がついた

眼前には…  
オーバーハングの  
乳がある…

シャワーで  
倒れたから  
びっくりしちゃった



どうした？

あ

そんな事  
言っても  
栄養補給を  
しないと…



しかし…  
さすがに身体が  
重いな…

何か  
食べれそう？

レーションまだ  
残ってるけど…

いや…  
あんまり  
食欲は…



……飲む？

……何を？

……エルブンミルク





……ほんとに  
出るのか？

わかんない……

多分吸えば……  
出る……かも

もう  
ちよつと……

はむっ

で……は……

んっ！

吸って……



ああっ……！

あ……

ぢゅうううううううううう



あま  
甘ッ！！

んっ……！！

ジュルッ！！

口の中に  
濃厚でまろやかな  
エルブンミルクの  
味わいが広がった





まるで生キヤラメルが如き濃厚な味わい……

これがエルブンミルク(直絞り)……!

ゴクンッ  
ちゅらうらうら  
ちゅちゅ

は……あ……  
出た……んっ!

へ、へんな味  
しない?

これ、是、天の齋した  
甘露也

いや意味  
分かんない



もつと……!

止まらない……!

いくらでも  
飲みたい!

ちゅちゅ

ちゅらうらうら

あつ!!

ああ……

両方から……あつ!



一口飲む度に  
エルブンミルクが  
俺の身体に染み渡り

身体を癒して  
いくのを  
感じる……

あ……

んあ……!

あつ……

じゅ……

んっ……





モッコリ!

おかげで  
自分でも  
驚くくらい  
復活している

元気・・・でた？

んっ...

ハッ

ほ、ほんとだ

しかし  
副作用というか...

グ  
イ  
ッ

あっ...!

ぬるっ...

すまん...我慢が  
出来そうにない...

...嫌か?

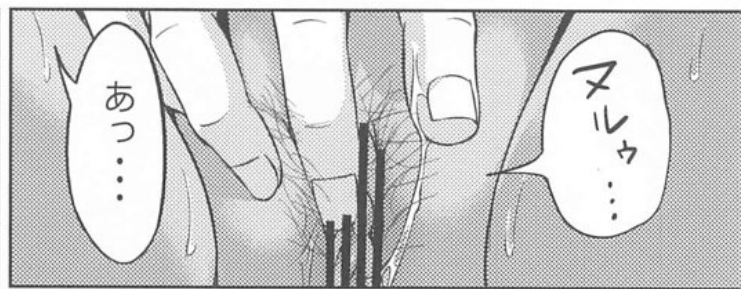
...わたしは

もっとあんたに  
...ふれていたい

もっと  
いっぱい

わたしに  
さわってほしい...





ん...ちゅ

ん...ちゅ

ん...ちゅ

はむ...

ちゅ...

ん...

ん...ちゅ...

ぬる

ん...ちゅ

ん...ちゅ

ん...ちゅ

ん...ちゅ

じゃあ  
ヌルヌル同士  
仲良くしよう  
じゃないか

あつ...

ヌル...

...キモいんだけど

ヌル

...すんごい  
濡れてる

みみみ  
見るな!!

あ、あんだだつて  
ヌルヌルなんだからね!!

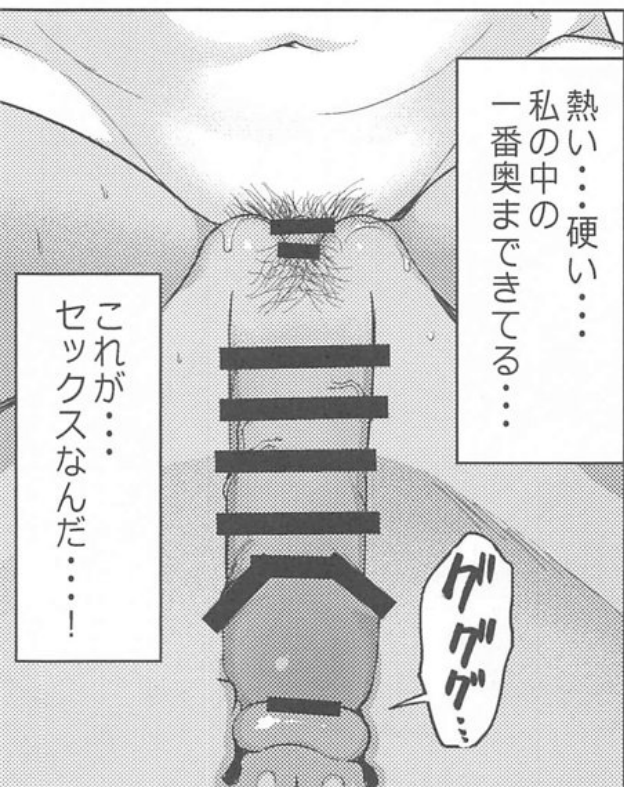
.....入れるか?

は...  
入るのかな...

ぬる

ぬる









んん…

…どうしたの？  
苦しそう

いや…  
あまりに気持ち  
良すぎて…

気を抜くと…  
発射しそうだな…



………？



わたしは  
いいけど…

出しちゃっても



いやダメだ！

これではあまりに早く  
男としてのプライドが  
俺にもっと我慢せよと  
強く訴えかけて  
きているんだ…

何つまんないこと  
言ってるのよ  
**ばか!!**

おハイパー…

それに  
ダークエルブンに対しても  
初めての思い出を  
こんな早漏話にするのは  
申し訳なく…  
くどくどくど…

**イラッ**

…私がいいって  
言ってるの!!





しっ、  
締め付けが  
強く……



おおおっ……

おっ！



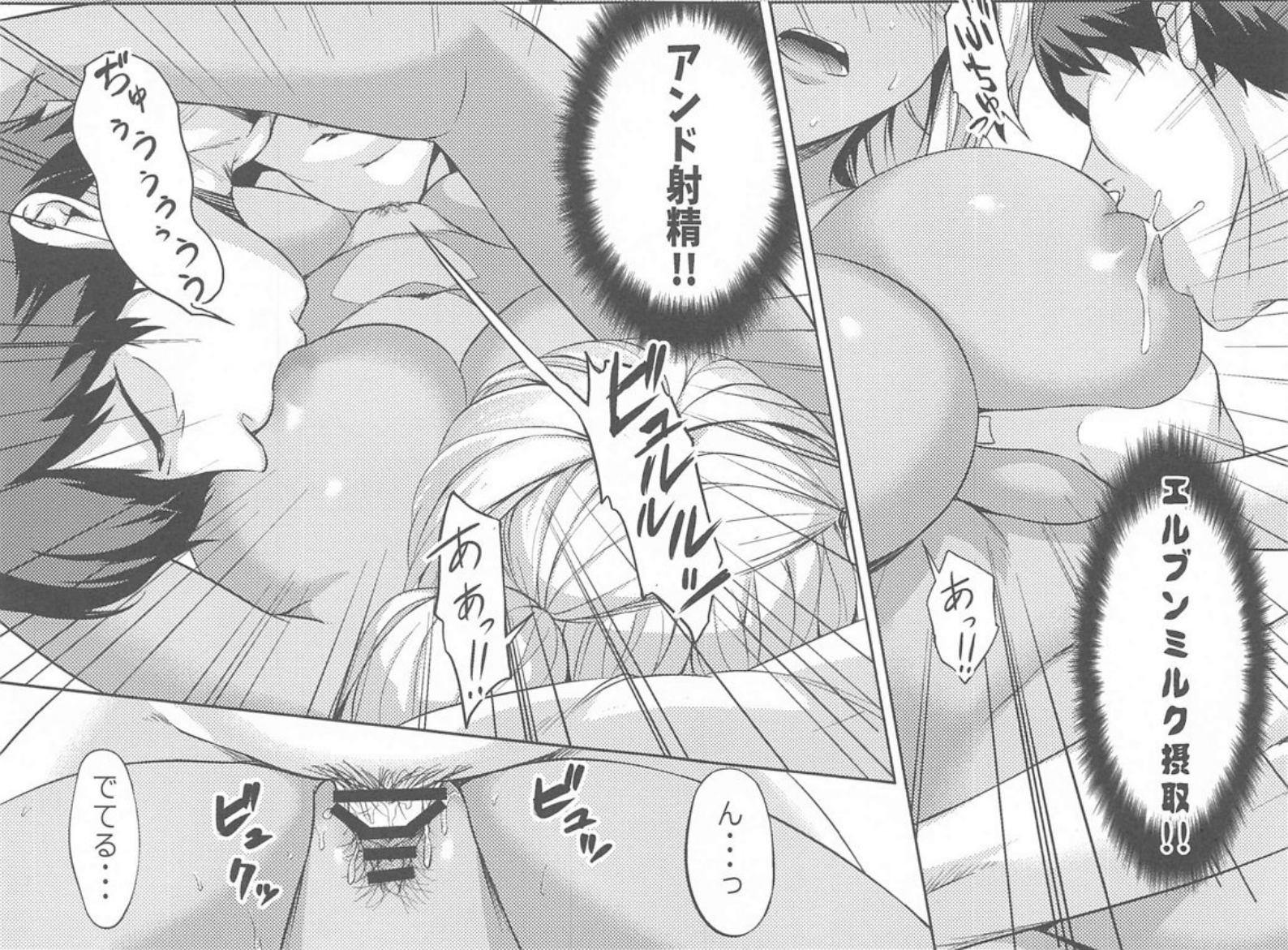
これはもう  
我慢など  
無理……！

今！

出る！！



くそっ！  
せめて……！



アンド射精！！

ブルブンミルク摂取！！

ああ！！

あ！！

ん……

でてる……

ビュッ

ビュッ

ぢゅんんんんん

ぢゅんんんんん





小さく…  
なってるない？

ありがとう  
エルブンミルク!!  
これで何回戦でも  
戦える!!

あっそつ…



…あれ？



な、なんかこれ  
恥ずかしいん  
だけど…

うむ眼福!!



前に手を着いて

こう？

そうそう

うん…？

次は  
後ろから  
してみないか？

2回戦



まるで夕日を  
反射して輝く  
山々のような尻だ

うっさいな!!

さて今度は俺が  
イカせる番だな

くちゅ

あ、ちよつ…

汚名返上と  
いこうじゃないか

なにそれ…

あつ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

んっ!!

あっ  
あっ

まっ…!!

んあっ

あっ!!  
はげし!!

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ  
ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ





おかしく…ッ  
なっちゃやう…  
からあッ…



突かっ…  
ないでっ…

だめっ  
奥ッ…



じゃあ  
おかしくなった  
ダークエルブンを  
見るために…

しっかり奥を  
突かなきゃな

この…  
ヘンタ…あっ♡  
これダメッ

ダメほんとに  
イク…ッ!  
イっちゃやう…!!



イツ…クツ!!



んぎっ…!!



俺も後少しで  
いきそうだから  
もうちよっと  
我慢してくれ

むっ、  
無理無理むり…ッ

へっ!?











わたしのいちばん…  
奥に…ツツ!!

出してっ…!!

ンツツ…ツツツツ!!

ビュルッ  
ビュルッ  
ビュルッ



もしかして  
エルブンミルクの  
効果か…?!

…そうなの?



ちつきりり…

たくさん  
感じるよ…

わたしの子宮に…  
入ってきてる…

は…あっ…

コッ  
コッ  
コッ

ビュルッ  
ビュルッ



もう・・・おわり？

ああ・・・  
流石にもう  
ダークエルブンも  
疲れたる

わたしは  
大丈夫だよ？

えっ

だって・・・

やっと  
あんたと  
できたんだもん

**レンジャーの  
体力がそるべし・・・**

何回でも  
できるんでしょ？

今度は私が先に  
イかせてやる  
からねっ

あっ・・・

返事は？

レンジャー  
ーッ！！

二人きりの  
レンジャー訓練は  
朝まで続いた・・・





帰ってきました！

おっ

！



誰!?

それに司令…

つやっ

ダークエルブン！  
おかえりなさい！



司令官  
それなに？



徽章？



いやあ  
訓練のおかげで  
シェイプアップ  
できたよ

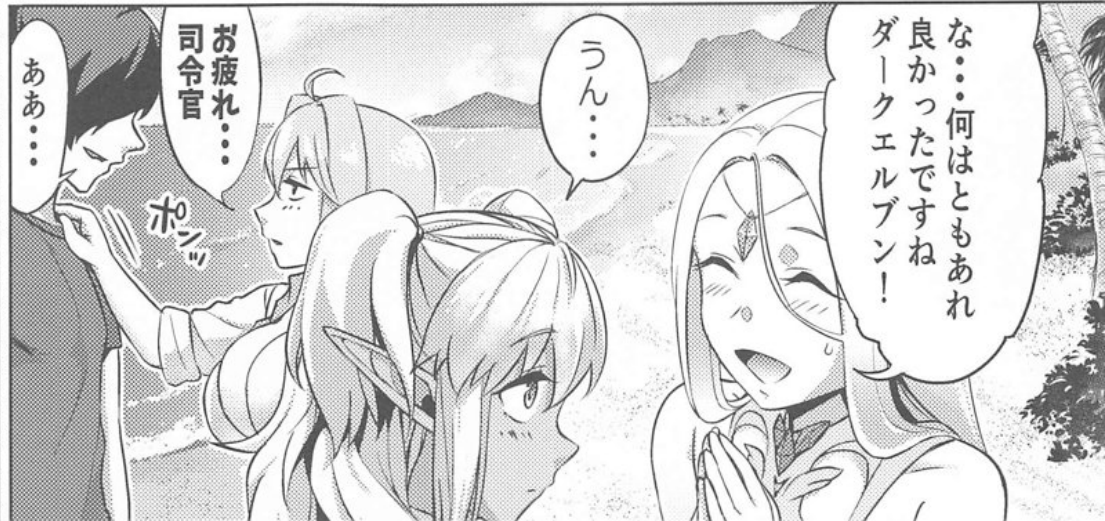
ほしいだけ  
みたくに  
なってるけど

司令官…？  
大丈夫ですか…？  
なんというか  
その…

シェイプアップ  
どっろじゃ  
なくない!?



ん？  
これか…



お疲れ…  
司令官  
ポッ

うん…

な…何はともあれ  
良かったですね  
ダークエルブン！



レンジャー  
ワッペンよ



これは？

あんたは  
レンジャー訓練に  
根を上げずに  
ついてきた

だからそれ  
あげる

手作りだから  
へたくそだけど…

一応…  
レンジャーの証  
だから…

司令官？

……

えーなんか  
二人だけ  
通じちゃつて  
するーい！

じゃあみんな  
訓練しようよ

うっ！  
それは…

まあまあ

おしまい

……レンジャー

なっ  
なにになに!?

これは選ばれし  
レンジャーの証!!

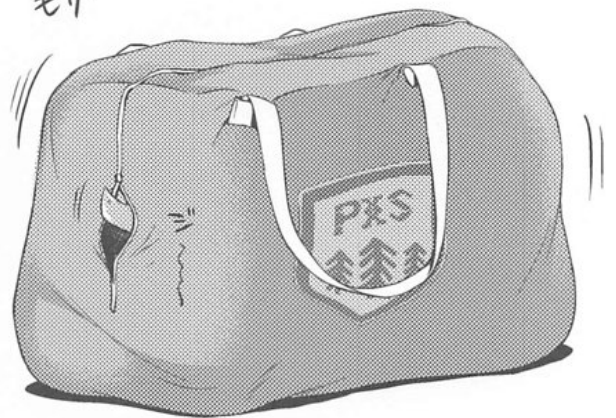
レンジャーは  
大切なものを  
守る為に命を  
賭けて戦うのだ!!

上官殿？

……そうだよな



毛い"  
毛い"









## あとがき

この本を手にとっていただき誠にありがとうございます。  
皆さんはじめまして、茶釜太郎と申します。  
3月のサンクワでFGOのコピー誌を買って下さった方はお久しぶりです。  
思い返せば数年前、僕の琴線を超振動させた褐色娘、  
ダークエルブン・フォレストレンジャーの本をようやく出すことが出来ました  
当初の予定では2冊前後の本になるはずだったのが、褐色欲が暴走したのか  
3冊まで膨れ上がってしまいました。  
夏コミに間に合うかは分からなかったのですが、何とか形になってほっと  
している次第です。  
僕のあるる褐色欲より大きく、パツンパツンの胸をもつダークエルブンの  
魅力が少しでも伝われば幸いです。  
次回は冬コミか、サンクワあたりに参加できればと思っていますので、  
その時はよろしくお願いします！

スペシャルサンクス  
あま沼だめきさん  
藤吉郎だめきさん  
いつもありがとうございます

茶釜太郎  
2024年8月吉日



## 奥付

タイトル ふたりぼっちレンジャー訓練

発行日 2024年8月12日

発行 ブンブクブクブン

著者 茶釜太郎

印刷所 金沢印刷様

連絡先 buri-ten@hotmail.co.jp





ふたりぼっちレンジャー訓練

オノオノオノ